



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所 東  
 コード番号 2196 URL <http://www.escrit.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼最高執行責任者 (氏名) 渋谷 守浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員 管理本部長 (氏名) 高梨 宏史 (TEL) 03-3539-7654

四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	22,142	18.4	1,174	185.1	1,058	211.3	610	232.8
28年3月期第3四半期	18,703	10.6	411	△76.4	340	△80.1	183	△82.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 611百万円(235.9%) 28年3月期第3四半期 181百万円(△82.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	51.24	51.10
28年3月期第3四半期	15.49	15.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	26,019	5,838	22.4
28年3月期	24,652	5,350	21.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 5,829百万円 28年3月期 5,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	4.50	12.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,180	15.1	1,200	43.0	1,055	34.1	600	66.8	50.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期3Q	11,913,300株	28年3月期	11,866,200株
29年3月期3Q	652株	28年3月期	652株
29年3月期3Q	11,905,709株	28年3月期3Q	11,833,547株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成29年2月7日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当社グループは、ブライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を展開すべく、施設のスタイルにこだわらず、東京23区及び政令指定都市を中心とした利便性の高い場所で挙式・披露宴施設を運営する当社の他、地方などの新たな地域でブライダル事業を運営する当社100%子会社である株式会社エスクリマネジメントパートナーズ(以下、エスクリマネジメントパートナーズ)、並びにグループ内における挙式・披露宴施設等の内装工事を請け負う株式会社渋谷(以下、渋谷)を主軸にグループ経営を推進する体制を強化し、連結業績の最大化に向け継続して取り組んでおります。

当第3四半期における当社グループは、主たる事業のブライダル事業において、主要広告媒体との連携強化や新たな各種イベント施策等を実施することで、反響・来館数が好調に推移いたしました。

また、昨今の業績の足枷となっていた人的リソース不足は、質・量ともに改善基調にあり、当社の強みであるきめ細やかな接客力が回復するとともに、接客機会ロスの減少、新規成約率の向上、施行キャンセル率の低減にそれぞれ繋げることができました。これらは、主に地方展開するエスクリマネジメントパートナーズでも同様な傾向で推移いたしました。

一方、建築不動産関連事業の渋谷においては、一部工事の完成の期ずれはあったものの、大型工事及び個人住宅の受注状況は概ね良好であり、業績も堅調に推移しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高22,142百万円(前年同四半期比18.4%増)、営業利益1,174百万円(同185.1%増)、経常利益1,058百万円(同211.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益610百万円(同232.8%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を見直し、「ブライダル事業」を「ブライダル関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「宿泊サービス」「レストランサービス」「宴会サービス」を含めております。また、「建築・内装事業」を「建築不動産関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「コンテナ事業」「不動産事業」を含めております。

このため、前年同期との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

#### (ブライダル関連事業)

前連結会計年度に開業した直営の挙式・披露宴施設4屋号(7バンケット)及びエスクリマネジメントパートナーズの9屋号(14バンケット)が業績に貢献しました。また、他社とのタイアップキャンペーン等の効果による来館数の増加に加え、課題であった人的リソース不足の解消が、新規成約率の向上に繋がり、ブライダル関連事業の売上高は19,395百万円(前年同四半期比26.0%増)となり、セグメント利益は2,113百万円(同116.6%増)となりました。

#### (建築不動産関連事業)

渋谷における大型工事の受注や、個人住宅等の建築工事が堅調に推移しているものの、一部工事の完成の期ずれ等により、建築不動産関連事業の売上高は2,342百万円(前年同四半期比21.8%減)、セグメント利益は154百万円(同49.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,366百万円増加して、26,019百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,524百万円増加したこと、販売用不動産が445百万円増加したこと、有形固定資産が563百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ878百万円増加して、20,181百万円となりました。これは主に、社債を600百万円発行したこと、流動負債その他が450百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が232百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ487百万円増加して、5,838百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を610百万円計上したこと、前事業年度の期末配当53百万円を実施したこと、中間配当71百万円を実施したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日付の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,223,537	5,747,884
受取手形及び売掛金	567,948	453,183
完成工事未収入金	282,862	100,577
販売用不動産	289,890	735,845
商品及び製品	107,855	80,911
原材料及び貯蔵品	106,091	88,667
未成工事支出金	101,023	369,247
その他	739,715	746,607
貸倒引当金	△9,637	△18,851
流動資産合計	6,409,287	8,304,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,993,140	10,376,755
その他	2,667,492	2,720,281
有形固定資産合計	13,660,633	13,097,036
無形固定資産		
のれん	245,872	191,518
その他	243,596	211,034
無形固定資産合計	489,469	402,552
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,241,880	3,246,762
その他	870,416	999,117
貸倒引当金	△18,855	△30,320
投資その他の資産合計	4,093,440	4,215,559
固定資産合計	18,243,543	17,715,148
資産合計	24,652,830	26,019,221

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,614,937	1,382,348
1年内返済予定の長期借入金	2,740,871	3,008,837
1年内償還予定の社債	10,000	65,000
未払金	1,035,045	1,068,175
前受金	1,185,924	1,171,043
未払法人税等	86,446	329,403
その他	1,388,578	1,839,174
流動負債合計	8,061,803	8,863,983
固定負債		
長期借入金	8,438,721	8,029,054
社債	5,000	540,000
資産除去債務	1,894,651	1,892,844
その他	901,983	855,142
固定負債合計	11,240,355	11,317,040
負債合計	19,302,159	20,181,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	584,979	591,543
資本剰余金	542,979	549,543
利益剰余金	4,200,947	4,686,090
自己株式	△187	△187
株主資本合計	5,328,719	5,826,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	762	2,178
その他の包括利益累計額合計	762	2,178
新株予約権	21,188	9,028
純資産合計	5,350,670	5,838,197
負債純資産合計	24,652,830	26,019,221

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	18,703,650	22,142,738
売上原価	8,094,241	9,420,844
売上総利益	10,609,408	12,721,893
販売費及び一般管理費	10,197,511	11,547,747
営業利益	411,897	1,174,146
営業外収益		
受取賃貸料	3,006	2,981
為替差益	14,081	-
解約返戻金	-	3,200
その他	16,006	10,729
営業外収益合計	33,093	16,910
営業外費用		
支払利息	79,962	92,387
その他	24,930	39,880
営業外費用合計	104,893	132,268
経常利益	340,097	1,058,787
特別利益		
負ののれん発生益	17,364	-
新株予約権戻入益	-	3,781
特別利益合計	17,364	3,781
特別損失		
減損損失	-	93,077
その他	-	8,820
特別損失合計	-	101,897
税金等調整前四半期純利益	357,461	960,671
法人税、住民税及び事業税	189,964	456,094
法人税等調整額	△15,792	△105,432
法人税等合計	174,172	350,661
四半期純利益	183,289	610,010
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,289	610,010



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	183,289	610,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,289	1,415
その他の包括利益合計	△1,289	1,415
四半期包括利益	181,999	611,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,999	611,425

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	プライダル 関連	建築不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,387,699	2,994,823	18,382,522	321,128	18,703,650	—	18,703,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,701	2,520,992	2,522,694	10,167	2,532,861	△2,532,861	—
計	15,389,400	5,515,815	20,905,216	331,295	21,236,511	△2,532,861	18,703,650
セグメント利益	975,718	306,393	1,282,112	△23,239	1,258,873	△846,975	411,897

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△846,975千円には、セグメント間の未実現利益の調整額△126,127千円、のれん償却額△52,909千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△667,939千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	プライダル 関連	建築不動産 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,395,971	2,342,435	21,738,407	404,330	22,142,738	—	22,142,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185	307,361	307,546	18,974	326,520	△326,520	—
計	19,396,156	2,649,796	22,045,953	423,305	22,469,259	△326,520	22,142,738
セグメント利益	2,113,179	154,515	2,267,695	△36,401	2,231,293	△1,057,147	1,174,146

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、web制作・イベントプロデュース事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,057,147千円には、セグメント間の未実現利益の調整額12,148千円、のれん償却額△52,909千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,016,386千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、プライダル関連セグメントにおいて93,077千円の減損損失を計上しました。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、「プライダル事業」を「プライダル関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「宿泊サービス」「レストランサービス」「宴会サービス」を含めております。また、「建築・内装事業」を「建築不動産関連事業」に変更し、従来「その他の事業」に含まれていた「コンテナ事業」「不動産事業」を含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの名称及び区分方法に基づき作成したものを開示しております。